TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信/国内/株式

2022年8月末

ファ	ンドの	の概要			
設	ን	È	日	2017年9月29日	
決	決 算 Ⅰ		日	年1回 7月20日(休業日の場合は翌営業日)	
信	託	期	間	無期限	
収	益	分	配	決算日に収益分配方針に基づいて分配を行います。	

ファンドの特色・投資方針

- 1 わが国の中小型株を中心に成長性の高い銘柄などに幅広く投資します。
- 2 中小型株の投資魅力である企業の成長性に主として着眼し、また、割安な企業、変化する企業を選別 します。
- 3 中長期的観点からの投資を基本としますが、企業の経営姿勢や業績の変化、株価水準等から総合的 に判断し、個別銘柄に対する投資比率の調整を行います。
- 4 数倍化する可能性のある銘柄の発掘に努めます。

パフォーマンス 16,500円 億円 7 純資産総額(右軸) 15,500 6 基準価額 (左軸) 5 14,500 13,500 12,500 3 2 11,500 10,500 1 9,500 0 2017/9/29 2018/9/29 2019/9/29 2020/9/29 2021/9/29

データ基準日:2022年8月31日

基準価額	15,146円
前月末比	+668円
純資産総額	10,463万円

資産	構成
株式	85.6%
その他	14.4%

期間別騰落率(%)						
1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3 年	設定来	
+4.6	+8.4	+10.9	-1.5	+28.1	+51.5	

	分配金
第1期	0 円
第2期	0 円
第3期	0 円
第4期	0 円
第5期	0 円
設定来	0 円

設定・運用は ・ TORANOTEC投信投資顧問株式会社 引業者 関東財務局長(余商)第384号

TORANOTEC

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信/国内/株式

2022年8月末

市況と運用方針

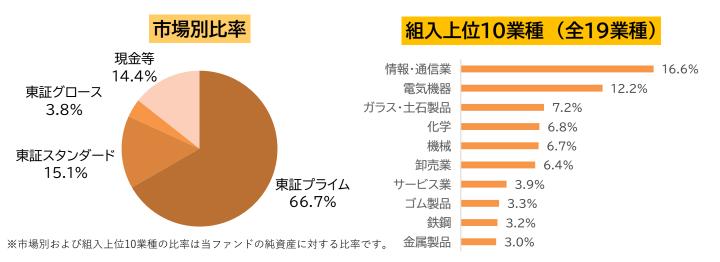
■運用状況■ 景気減速懸念が再燃。一時市況が回復するも、月末にかけ割高感が意識され利益確定売りが目立つ。

8月の株式市場は7月の米消費者物価指数が市場予想を下回り、米国のインフレが鈍化するとの期待から利上げ加速に伴う景気後退への懸念が和らぎ米国株が上昇する流れを受け、17日に日経平均株価は約7カ月ぶりに29,000円台を回復しました。その後は最近の株価上昇で短期的な過熱感の高まりや月末にかけて米国の金融引き締めの長期化観測が強まり、世界景気を下押すとの懸念から大幅下落し、月末は28,091円となりました。新興・中小型株は米国でインフレへの警戒感の後退で投資家心理が改善し、好決算を発表した銘柄や成長株を中心に見直し買いが入り、東証マザーズ指数は17日に約4カ月ぶりの高値を付けました。その後は米長期金利の上昇を受け、相対的な割高感が意識されやすい高PER(株価収益率)の成長株に戻り待ちや利益確定売りが出ました。

当ファンドは水産、化学品と樹脂成形部品、自動車関連でバリュエーションが低く配当利回りが比較的高い銘柄などの新規買い付けや保有銘柄の買い増しを行う一方、株価が急伸した企業向け支援サービス、人材サービス、ヘルスケア、アウトドア関連銘柄などの売却に加え、原材料費の高騰や部品不足やそれに伴う生産遅延などにより業績が鈍化した発電機や機械関連銘柄の損切り、持ち高調整の売却を行い、8月末の株式組入比率を85.6%としました(7月末87.4%)。主要投資対象指数の騰落率(前月末比)は、中型株指数+1.7%、小型株指数+2.4%、東証マザーズ指数+3.3%となりました。

■今後の運用方針■ 投資環境を引き続き注視し、好業績・好財務で配当利回りが比較的高い割安銘柄に注目。

米国の積極的な金融引き締めや欧米の高インフレに加えて、中国の複数の大都市で都市封鎖が実施され経済活動が抑制されるなど世界景気が一段と減速するとの懸念が広がっています。米連邦準備理事会(FRB)は金融引き締めを継続するなか、9月から保有資産を減らす量的引き締め(QT)の削減の上限を倍増するなど今後の金融市場の動向が注目されます。株式市場は各国の主要中央銀行による積極的な利上げへの警戒感から不安定な相場展開を予想しています。20~21日に開かれる米公開市場委員会(FOMC=金融政策決定会合)で大幅利上げを織り込む形で相場は調整しているものの、足元の急速なドル高・円安や金融政策の影響を見極めたいと様子見姿勢が一段と強まる可能性があります。一方、円安基調が主要輸出企業の業績を下支えすることや20年後半から続く車載半導体の需給ひっ迫が足元改善に向かっており、今後自動車メーカーの挽回生産が期待されます。新興・中小型株では世界景気の減速懸念など先行き不透明感から外部環境の影響を受けにくい内需系の中小型株を個別に物色する展開を予想しています。また、今月のFOMCで大幅な利上げが予想されるなど金融引き締めが続く環境下では高PERの成長株の上値を抑えることになりそうです。運用においては引き続き投資環境などをみながら好決算銘柄や業績回復が見込まれる銘柄などに押し目買い姿勢で臨んでいく方針です。また、9月末の配当権利取りから好財務で配当利回りが比較的高い割安銘柄などにも注目いたします。中長期投資を基本としつつ、環境の変化に対応できるよう心掛けてまいります。



TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信/国内/株式

2022年8月末

ファンドマネージャーの視点 組入比率上位10銘柄 (全52銘柄)

1 システムサポート

1306

歯証プライル

情報·通信業

4.4%

独立系のICT(情報通信技術)企業。オラクルのデータベースのほか、SAP.アマゾンのAWS(アマゾンウェブサービス)のパートナーとして企業をサポートしており、需要が拡大するクラウドサービスの恩恵が見込まれる。

2 東洋炭素

5310

車証プライル

ガラス・十万制品

.9%

1941年に近藤カーボン工業所としてカーボンブラシ製造からスタート。1974年、日本で初めて「等方性黒鉛」の開発に成功、世界シェアトップ。「炭素」の中でも「黒鉛」は約3000度の高温処理により整った結晶構造を持ち、電気をよく通す性質がある。等方性黒鉛は熱及び電気伝導性に優れ、高温や薬品への耐性が高く、軽量で加工が容易で摩擦や摩耗が起こりにくいとう特性がある。原子力・放電加工・半導体・自動車・宇宙航空分野など幅広い産業分野で採用され、最近は黒鉛製品表面にコーティングを施した機能性複合材料など新製品を開発。半導体用るつぼを主力に一貫生産。

3 アルゴグラフィックス

7595

東証プライム

情報·通信業

2.6%

CAD(コンピュータ利用の設計)システムの開発・販売、コンサルティングおよび保守サービス。自動車業界向けの設計需要や半導体設備 投資の増加など恩恵大。

4 ニチコン

6996

東証プライム

電気機器

2.5%

コンデンサ大手。コンデンサは電気を蓄えたり、放出したりする部品。アルミ電解コンデンサやフィルムコンデンサ、小型リチウムイオン 二次電池など。電気自動車(EV)や次世代通信規格「5G」など情報通信機器および再生可能エネルギー市場に向けて需要が拡大。

5 日東工業

6651

東証プライム

電気機器

2.5%

電設資材のキャビネットでトップ。配電盤でも大手、製販一貫体制。高圧受電設備・分電盤等の電設資材、情報通信関連資材など幅広い分野で提供。配電盤、電気自動車(EV/PHEV)用充電器などの製販一貫体制。高品質・短納期。中期経営計画(最終期24年3月期)における資本政策を見直し、株主資本利益率目標を7.0%以上から8.5%以上に引き上げ、今・来期の配当性向を100%と資本効率の向上を図る。

6 オリコン

4800

東証スタンダード

情報·通信業

2.4%

ヒットチャートなど音楽情報サービスなどを提供する持ち株会社。顧客満足度(CS)調査事業ではランキング掲載サイトの運営、ニュース配信・PV事業、音楽・映像・書籍のマーケティングデータおよびライセンス情報の提供を展開。

7 大阪ソーダ

4046

東証プライム

化学

2.2%

電気分解技術を基に基礎化学品、機能化学品、ヘルスケア関連(医薬中間体)、環境関連など幅広く展開。機能化学品の多くは原料から一貫生産によってグローバルニッチトップ商品を数多く保有(自動車用燃料系ホース、吸排気系ホース、UVインキの原料であるダップ樹脂など)。

8 スカパーJSATホールディングス

9412

東証プライム

情報·诵信業

2.1%

アジア最大の通信衛星サービスとCSで有料多チャンネル放送「スカパー」事業。売上構成比はメディア事業56%:宇宙事業44%。メディア事業の「スカパー」有料放送の加入者数は12年度の382万件をピークに22年度は291万件へと減少する一方、宇宙事業は増収増益で営業利益が全体の約8割を占める。官公庁向けや船舶・航空機内のWiFiサービスなどを提供。

9 日本コンセプト

9386

東証プライム

倉庫·運輸関連業

2.1%

タンクコンテナを用いた化学品などの危険物から食品、薬品材料などあらゆる液体貨物に特化した国際物流企業。商船三井と資本業務提携で海外顧客の開拓も期待。タンクコンテナは地球環境への影響が少なく、反復利用できる優れた容器。

10 藤倉コンポジット

5121

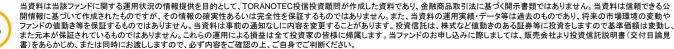
東証プライム

ゴム製品

2.0%

ゴム関連製品を中心とした産業資材関連が主力だが、スポーツ用品(売上高比率27%、営業利益の4割弱)のゴルフシャフトが世界中の トッププロからの信頼を得て内外で好調、収益をけん引。ゴルフ市場の底打ち・回復傾向を追い風に収益拡大が見込まれる。

※組入比率は当ファンドの純資産に対する比率です。



TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信/国内/株式

2022年8月末

当ファンドにかかるリスクについて

当ファンドは、株式や公社債など値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、ファンドは、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

- ①株価変動リスク...株式市場が国内外の政治、経済、社会情勢の変化等の影響を受けたり、また株式の 発行企業の業績悪化、信用状況の悪化などで、基準価額が下落する可能性がありま す。
- ②金利変動リスク…金利変動により債券価格が変動するリスクをいいま<mark>す。一般に金利</mark>が上昇した場合には、債券価格は下落し、当ファンドの基準価額が下落する可能性があります。
- ③信用リスク…公社債および短期金融商品の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利息や 償還金をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなるリスク(債務不履行)をいい ます。
- ④流動性リスク…有価証券等を売買しようとする場合、需要または供給がないために、有価証券等を希望 する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買することができないリスクをいいます。
- ⑤投資信託に関する一般的なリスク
- ⑥運用体制の変更ならびに運用責任者の交代に関するリスク

お客さまにご負担いただく費用について

直接的に負担する費用

購入時手数料

取得申込受付日の基準価額に、3.30%(税抜3.00%)の率を上限として、販売会社が別に定める手数料率を乗じて得た額とします。申込手数料の詳細につきましては、販売会社にお問い合わせください。

換金時手数料

ありません

信託財産留保額

ありません

信託財産で間接的に負担する費用

運 用 管 理 費 用(信 託 報 酬)

ファンドを保有している期間、保有している金額に対して年率0.88%(税抜0.80%)。 (配分(各税込):委託者0.4235%・販売会社0.4235%・受託者0.0330%)

その他の費用・手数料

信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等を含みます。) 有価証券売買時の売買委託手数料等

※その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※詳しくは交付目論見書をお読みください。

<投資信託に関する留意事項>

投資信託は、その商品の性格から次の特徴をご理解のうえご購入くださいますようお願い申し上げます。

- 投資信託は預金ではありません。
- ・投資信託は預金保険の対象となりません。
- ・投資信託は値動きのある有価証券等に投資するため、投資元本及び分配金が保証された商品ではありません。
- ・投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ・投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

TORANOTECアクティブジャパン

追加型投信/国内/株式

2022年8月末

お申込みメモ	
購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。
換 金 単 位	最低単位を1口単位として販売会社が定める単位
換 金 価 額	換金申込受付日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から <mark>販売会社にお</mark> いてお支払いします。
申込締切時間	原則として、営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。

委託者、その他関	 係法人
委託者	TORANOTEC投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 (投資信託設定、投資信託財産の運用指図等を行います。)
受託者	株式会社りそな銀行(再信託:株式会社日本カストディ銀 <mark>行</mark>) (投資信託財産の管理業務等を行います。なお、信託事務の一部につき、株式会社日本カスト ディ銀行に委託することができます。)
販売会社	(受益権の募集・販売の取扱い、一部解約の実行の請求ならびに償還金および一部解約金の 支払い等を行います。下記表は当ファンドの販売会社の一覧表です。)

販売会社一覧

舰 <u>加云性一</u> 見					
販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法 人日本投資 顧問業協会	一般社団法 人金融先物 取引業協会	一般社団法 人第二種金 融商品取引 業協会
<u>楽天証券株式会社</u>	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	0	0	0	0
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	0		0	0
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	0		0	
香川証券株式会社	金融商品取引業者 四国財務局長(金商)第3号	0			
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	0	0	0	0
TORANOTEC投信投資顧問株式会社※ ※新規取得のお申込みは現在取扱っておりません。	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第384号		0		

<ファンドに関する照会先>

ホームページ https://www.toranotecasset.com

電 話 番 号 03-6432-0782(受付時間:営業日の9時~17時)

TORANOTEC ASSETMANAGEMENT

